平成24年5月2日

各 位

上場会社名　愛眼株式会社
代表者　代表取締役社長 下條　三千夫
(コード番号　9854)
問合せ先責任者　取締役管理本部長 向井　勇
(TEL　06-6772-3383)

業績予想の修正及び特別損失の計上に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成24年２月７日に公表した業績予想を下記の通り修正するとともに併せて特別損失の計上をお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成24年3月期通期連結業績予想数値の修正（平成23年4月1日～平成24年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	18,121	△498	△340	△521	△26.48
今回修正予想(B)	17,914	△607	△463	△1,040	△52.88
増減額(B-A)	△206	△108	△122	△519	
増減率(%)	△1.1	―	―	―	
(ご参考)前期実績 (平成23年3月期)	19,045	△662	△610	△1,322	△66.63

平成24年3月期通期個別業績予想数値の修正（平成23年4月1日～平成24年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	17,749	△521	△341	△508	△25.81
今回修正予想(B)	17,529	△626	△475	△1,020	△51.88
増減額(B-A)	△220	△104	△134	△512	
増減率(%)	△1.2	―	―	―	
(ご参考)前期実績 (平成23年3月期)	18,681	△678	△622	△1,324	△66.75

修正の理由

(1)通期の業績予想の修正について

売上高につきましては、New愛眼スタート前の在庫処分セール等の展開、スタート後のスマートプライスの導入によってお客様の反響を得、特に低下傾向が続いたヤング層、団塊ジュニア層でも支持率を回復し、販売着数を増やすことができました。しかしながら、着単価のダウン、売れ筋人気商品の品薄状態による販売機会の逸失、店舗改装の遅延等により、前回予想数値を下回る見込みとなりました。

経費につきましては、予算よりも抑える事ができる見込みとなったものの、売上の下げ幅を補うまでには至らず営業利益、経常利益とも前回予想数値を下回る見込みであり、また、下記(2)のとおり特別損失を計上することとなり、当期純利益は大幅に下回る見込みとなりました。

(2) 特別損失の計上について

平成24年3月期決算において「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、保有する固定資産のうち、収益性の低下が見込まれる店舗について、減損損失を新たに368百万円計上することになりました。

この結果、通期では減損損失460百万円を特別損失に計上いたします。

※上記の予想数値につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上